

保全団体サポート事業



会としての予算がない中で組織的な取り組みができず、個人的・部分的な活動にとどまりました。

調査活動とデータベースの構築

- スタッフが保全団体を幾つか訪問しましたが、個人的な訪問の域にとどまりました。話がうまく聞けても聞けなくても、調査票にきちんと記入しデータとして残すべきでした。
- データベースの構築は、最初の項目が完了しました。引き続きの取り組みと、使い勝手についての検討が必要です。

情報発信

- 『まもりびと』については、取材に行ったものの内容が不鮮明になり挫折しました。前と同じ形で発行するのがいいかどうか考え直したいと思います。
- 保全団体一覧のWeb掲載は、とりかかることができず、持ち越し課題となりました。

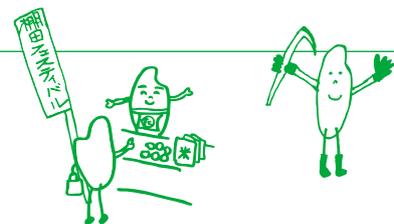
相互交流の場の創出

- 棚田サミットでの「保存会意見交換会」はたいへん好評でした。今後も継続し、何らかの形につながれたらと思います。
- エコプロダクツ展の共同出展は二度目となりました。準備不足で内容も不十分でしたが、継続することで次の展望も見えました。



都市住民向けの普及啓発事業

現地活動、イベント、棚田オーナー紹介サイト開設、旧暦棚田ごよみ販売など、様々な活動に取り組みました。



茂木プロジェクト

- 5月11日(土)に体験米作り(田植え)を実施。参加者18名。昼食後、岩の作棚田を散策。キンランやエビネランが咲いていました。
- 6月29日(土)～30日(日)にホテル観賞会実施。参加者6名。29日夜にホテル観賞(早坂棚田)、小深公民館泊。30日は岩の作棚田を散策。5月に田植えした稲が順調に育っているのを見て感激。帰途、石畑棚田でハッチョウトンボを観察しました。
- 9月7日(土)に体験米作り(稲刈り)を計画しましたが、台風接近に伴う悪天候のため中止。稲の登熟との関係で日程変更ができず、残念ながら当年度の体験稲刈りを取りやめました。1本植え、2本植え、3本植えの1株穂数・1穂モミ数調査は、6名の協力者により別途実施しました。



恵那地区・棚田ビオトーププロジェクト

- 6月3日・田植え、23名参加。8月3日・子どもビオトープ観察会、約20名参加。10月9日・稲刈り、9名参加。3月23日・「第7回かえるの卵を探そう!」開催、12名参加。
- 現在の立場でやれること・やれないことがあり、できる範囲で棚田保全に対する支援を実行していきます。



石部プロジェクト

- 昔ながらの米作り体験(全7回)は2年目も滞りなく終了。助成金の獲得もあり、スムーズな運営ができました。しかしながら参加者は、なかなか伸び悩んでおりWeb、イベント他、PR方法の再検討が必要。
- 保存会との石部棚田全体のサポート体制については、石部棚田のHP、情報発信などを引き続き行いました。保全サポートについても保存会の皆さん、地域おこし協力隊、町などと連携を図りながら検討を重ねました。



畦付け・畦塗り



稲刈り

佐渡プログラム

11年目の曲がり角に次の2点を目指しました。

- ① 参加者の高齢化と復田の是非をめぐる作業の見直し
 - ② 助成金ゼロの状況で赤字を出さないで運営する。
- ①については、月布施地区の計らいにより棚田作業(草刈り)は午前中で終え、午後は今後の在り方について討論しました。②については、食料を全て岩首での現地調達とし、会費15000円で全てを賄い収支をゼロとしました。参加者12名。



棚田オーナー制度紹介サイト(棚田百貨堂)

10月23日に全国のオーナー制度紹介サイトとして「棚田百貨堂」(<http://www.tanadaowner.com/>)を公開しました。

公開時の掲載地域は20ヶ所、その後もオーナー制度を行う地域に電話調査を行いました。



普及啓発イベントなど

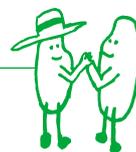
- さえずり館での普及啓発イベント3回。棚田への関心は依然高いという実感があり、そういう人たちをイベントや活動へどう誘うかが課題です。
- 旧暦棚田ごよみプロジェクトは昨年を少々上回る収入を確保できました。
- 2月1日(土)に新宿区立西新宿小学校でおこなわれた「まちの先生見本市」(新宿エコセンター主催)に出展しました。スタッフ10名。紙芝居「おこめのひみつ」を上演後、糺摺り体験を実施。小学生や保護者、先生など約100名が棚田ネットのブースに来訪しました。



左上:さえずり館イベント
左下:まちの先生見本市
上:旧暦棚田ごよみ

企業・団体向けの普及啓発事業

退任した担当者の後任を決めることが出来ず、まとまった取り組みは出来ませんでした。



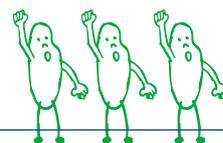
CSR活動サポート事業

三菱商事・三菱食品の協力により、東京駅近くの一等地の施設でイベントを開催。来場者多数、社員の方も熱心に聞いていました。一方で、幾つかの企業からCSR活動の打診はあったものの、実施には至りませんでした。



棚田保全米事業

- 棚田米生産者の聞き取りや「棚田応援米マーク」の広報活動が出来ず、反省しています。
- 成川米穀さん(川崎)の棚田米百選(ネット販売)を引き続き応援し、「棚田応援米」シールの活用をお願いしています。
- 菊太屋米穀さん(大阪)に佐賀県玄海町の棚田米生産者を紹介。法人会員に入会いただきました。
- 茂木体験米の販売(会員向け)



組織運営について

会員の減少傾向が続いています。4月1日現在の会員数:319名(前年同期344人)。2013年度は新規加入者25人、退会者50人でした。

広報・Web

- 会報が年4回の季刊誌になり、より季節感を意識して編集するよう努めました。
- 石部プロジェクトの参加者募集強化のため、スタッフブログ「石部棚田～昔ながらのお米づくり日記」(<http://tanadanet-ishibu.tumblr.com/>)を新たに公開しました。

